

景況調査

第23回「山形県企業景気動向調査」(概要)

詳細は調査レポート(<http://www.f-ric.co.jp/>)をご覧ください。

1 調査の目的

山形県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

アンケート対象企業(721社)有効回答数539社(回答率74.8%)すべての質問事項についてDI(Diffusion Index)値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

3 調査期間

平成22年5月6日(木)~17日(月)

4 地域区分

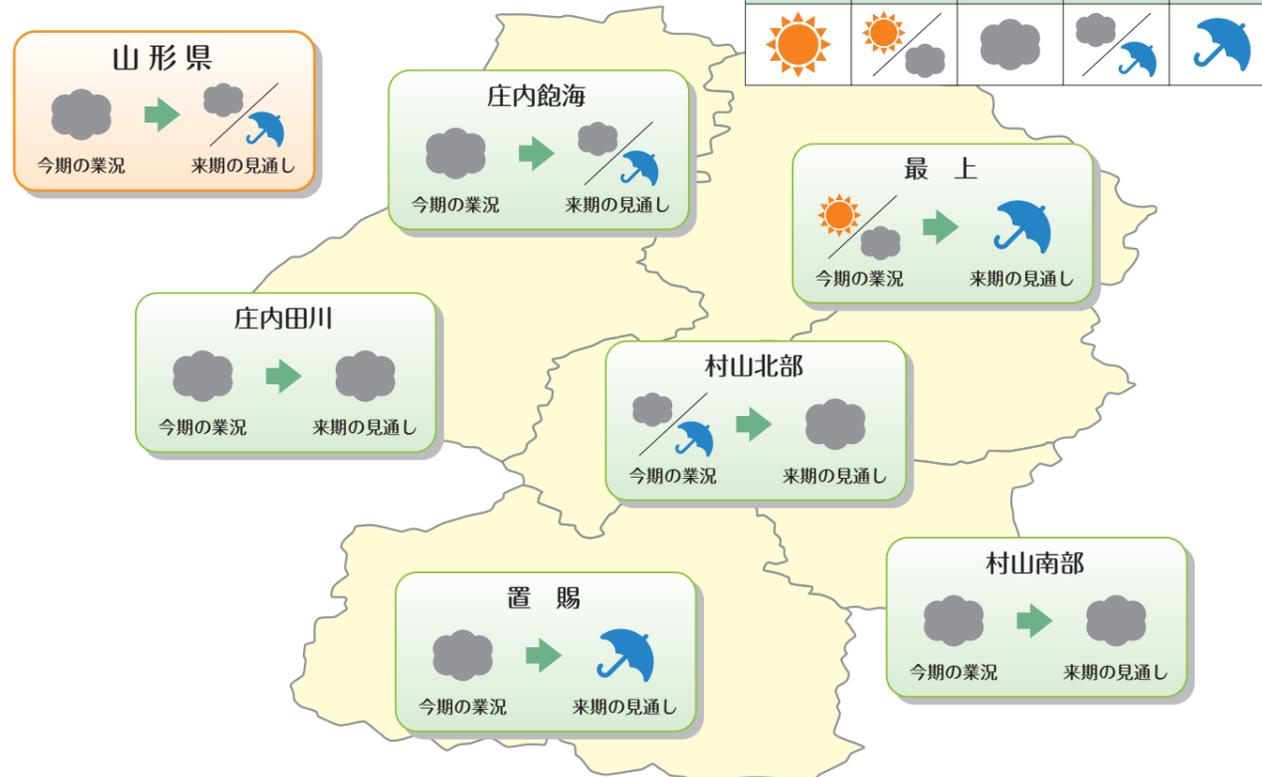
地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

景気の天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値(前年同期比)を5段階に分けて図解したもの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ 30	30 > DI



◆今期の業況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

◆来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

山形県企業の景気動向

現状判断 回復の兆しがみられる。

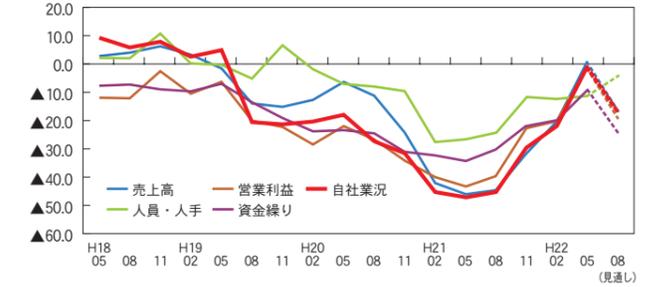
山形県の企業の業況は、前年同期比、前期比ともに大幅に改善し、持ち直しの動きがみられる。「自社の業況」DI値(前年同期比)は▲1.2(20.7ポイント上昇)ではほぼ0となり、平成19年9月の「世界同時不況」以前の水準に近づいた。

来期の見通し 先行き不安感が継続している。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が▲16.9と再び低下する見込み。国内の政治不安や欧州の財政危機などがマイナス要素となっている。

これまでにスリム化が図られた製造業においては先行き不安感により、前向きな設備投資、正規雇用には踏み出せていない。

自社業況DI値の推移(前年同期比)



調査項目	自社業況	売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
調査時点	(前期比)				
H22.02 (n=469)	▲21.9 (▲16.3)	▲20.3	▲20.3	▲12.3	▲20.1
H22.05 (n=539)	▲1.2 (▲2.6)	0.7	▲1.3	▲11.1	▲9.1
変化幅	20.7 (13.7)	21.0	19.0	1.2	11.0
H22.08 (n=539)	▲16.9 (-)	▲16.2	▲19.1	▲4.2	▲24.1
見通し: 変化幅	▲15.7 (-)	▲16.9	▲17.8	6.9	▲15.0

業種別の動向

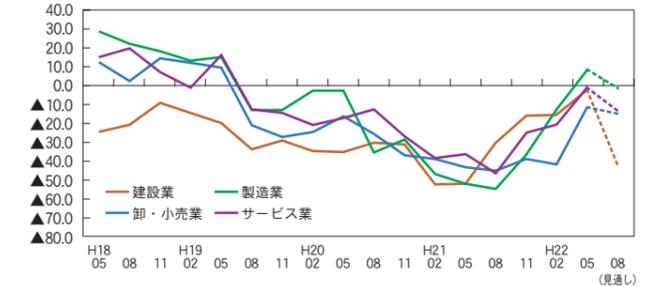
現状判断

山形県の全業種において自社の業況DI値の回復が見られた。特に製造業では(▲12.4→8.2)と3年ぶりにプラスに転じており、19年5月調査の水準に近付きつつある。エコカー減税、やエコポイント制度などの政策効果により一部の業種が回復をけん引している。

来期見通し

業況の先行き見通しは、建設業の落ち込みが▲40.2ポイントと最大。昨年度のような公共工事の前倒し発注が期待できないことから、建設業界は景気悪化への警戒を強めている。製造業はアジアでの需要と国内でのエコ関連需要により落ち込みは限定的となっている。

業種別DI値の推移(前年同期比)



調査項目	業種別・自社業況			
	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
調査時点				
H22.02 (n=469)	▲15.7	▲12.4	▲41.9	▲17.7
H22.05 (n=539)	▲2.5	8.2	▲11.4	▲0.8
変化幅	13.2	20.6	30.5	16.9
H22.08 (n=539)	▲42.7	▲1.3	▲15.1	▲13.4
見通し: 変化幅	▲40.2	▲9.5	▲3.7	▲12.6

地域別の動向

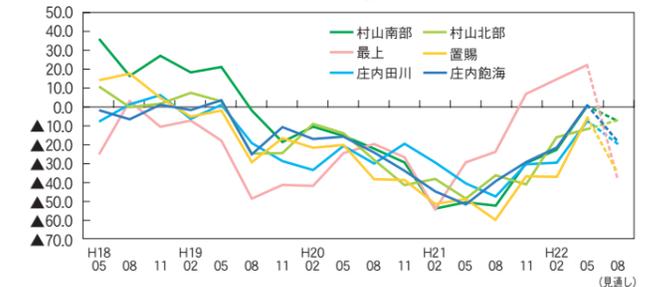
現状判断

山形県各地の景気動向は、「自社の業況」DI値(前年同期比)が村山南部、最上、庄内飽海の3地域で「良い」超。全地域において自社業況の回復がみられた。村山南部、置賜、庄内全域での回復が大きいのに対し、村山北部、最上での回復は比較的緩やかである。

来期見通し

業況の先行き見通しは、村山北部地域を除いた地域で不安感が継続しており、特に建設業の比率が高い最上地域では▲60.0ポイントと再び大幅に悪化する見通し。

地域別DI値の推移(前年同期比)



調査地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
調査時点						
H22.02 (n=469)	▲22.9	▲16.3	14.6	▲37.0	▲29.3	▲21.8
H22.05 (n=539)	0.7	▲11.6	22.0	▲5.1	▲7.6	1.0
変化幅	23.6	4.7	7.4	31.9	21.7	22.8
H22.08 (n=539)	▲7.7	▲7.2	▲38.0	▲34.7	▲9.7	▲18.5
見通し: 変化幅	▲8.4	4.4	▲60.0	▲29.6	▲2.1	▲19.5